

2024年11月8日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮一雅
 (コード番号2445 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営戦略本部長 安田秀樹
 (TEL. 06-6375-3918)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,600	1,150	930	500	10.73
実績値 (B)	21,236	802	640	498	10.70
増減額 (B - A)	△1,364	△348	△290	△2	
増減率 (%)	△6.0%	△30.3%	△31.2%	△0.4%	
(ご参考) 前年同期実績 (2024年3月期第2四半期)	20,792	1,205	1,485	1,006	21.60

2. 差異の理由

当中間連結会計期間におきまして、9月12日にグランドオープンいたしました「Takamiya Lab. WEST」内にタカミヤプラットフォームが提供するソリューション、将来ビジョンを体感できる「Innovation Hub」の建設が完了し、プラットフォーム事業拡大の基盤が整いました。国内建設需要は堅調であるものの、人材不足等による工事延期や、金融引き締め等による景気後退懸念等、先行き不透明な状況を懸念する動きは引き続き見られ、一部見込案件の納入が当第3四半期以降に遅れたことにより売上高が減少しました。また、子会社の役員退職慰労引当金の見直しにより販管費が増加しました。これらの結果、営業利益は当初の予想を下回りました。経常利益は、海外子会社へのグループ貸付金に対する評価替えによるもので、円高の動向が継続したため、為替差損の計上となり、当初の予想を下回る結果となりました。

なお、2025年3月期通期連結業績予想数値につきましては、見込案件の納入時期が遅れることになったため、2024年5月10日に公表しました業績予想数値を据え置くことといたします。

以上